

# 「紛争復興支援のための農民リーダー研修事業」

## －研修成果の概要－

### 1. 事業の目的

アフガニスタン等の紛争地域においては、紛争の拡大を防ぎ、紛争が治まった地域においては経済復興を行うことが民政安定の鍵となっている。特に農村部においては、食料不足や貧困が紛争の発生する要因ともなっており、これら地域の食料不足や貧困の改善のため、農業生産性の向上を図る支援が急務とされている。

このため、本事業では、平成 23 年度～平成 27 年度の間、農民リーダーに焦点をあて、受入研修を行うこととしている。

### 2. 平成 23 年度事業

#### (1) 趣 旨

今年度は、依然として紛争の傷跡深いアフガニスタンを対象とした。

アフガニスタンでは、人口の8割以上が農村に住んでおり、農村における治安の安定、貧困削減・生計向上を図る上で、農業農村振興は極めて重要となっている。乾燥地帯に位置するアフガニスタンにとって、農業生産性を左右する最大の要因は「水」であり、地域ごとに伝統的なかんがいシステムが発達し、公正で効率的な水配分を管理・監督する「ミラーブ（水守：みずもり）」を中心に運用されてきた。しかし、近年の長引く戦乱により、かんがい施設及びその管理システムの多くが破壊され、加えて近年の干ばつにより、小麦をはじめとした食料生産に深刻な影響を与えている。

本事業では、このミラーブに焦点をあて、かんがい施設の建設及び修復、ミラーブ組織の再構築・再強化を図り、効率的・持続的な水利用を実現するため、我が国の農村のかんがい施設施工技術、土地改良区や水管理組合における協働の精神を通じたかんがい施設の維持管理手法、さらにはそれらを支える地方及び中央政府の役割を学ぶこととした。

#### (2) 概要

対象とする研修員：アフガニスタン各地方の



香川用水東西分水工(香川)



豊稔池土地改良区(香川)にて水路清掃



片樋マンボ(三重)の出口水路  
※マンボ:人工的に作られた地下水路

ミラーブ等計 20 名

研修期間:2011 年 9 月 26 日～10 月 13 日

研修場所:東京都内(講義)、香川県及び三重県のかんがい地区(現地視察)

### (3) 研修成果報告会及び意見交換会

10 月 12 日に、研修員が農林水産省を訪問し、研修員を代表して、アフガニスタン国内各地方のミラーブが研修成果及び帰国後の行動計画を報告するとともに、省内関係部局担当者との間で、今後のアフガニスタンにおける農業振興について、意見交換を行った。

研修員からは、地域住民参加の下で各種事業を計画・実施していくことを基本とし、長い戦乱により壊れたり、老朽化等により機能が低下しているかんがい施設の修復・改良について、豊稔池ダムや、ため池、頭首工などの現地で視察した我が国の技術を手本にしたいとの発言があった。また、公正な水配分等のかんがいシステムの持続的運営について土地改良区等の組織を参考にしたいとの発言もあった。さらに、これらかんがい施設や水管理組織を基盤とした農産物増産とともに、農産品の輸出を含めた販路拡大を図り、農民の収入向上や生活改善に向けた意欲が示された。



意見交換会の様子(農林水産省内会議室)